



ひかり結ぶまち

# かりや 景観れぽーと

●創刊号●

VOL.1

発行日：平成10年3月15日

発行：刈谷市都市計画課

TEL (0566) 23-1111



洲原公園

毎日に日差しがおだやかになり、  
あたたかな季節になりました。  
公園の草木も持ちかねたように美しい花をつけ、  
春の訪れを知らせてくれます。  
刈谷のまちのお花見どころの亀城公園と洲原公園では、  
4月1日～15日に桜祭りが開催され、  
私たちがもっとも身近に春を感じることができます。

亀城公園



## ●特集●

かりやの景観  
ことはじめ

刈谷のまちは天文2年の水野氏の刈谷城築城に始まると言われています。都市化が進み、現在のまちなみはすっかり変わっていますが、刈谷城跡の周辺には、踏地や家々の削り出す空気に趣が見られます。

## ●まちなみに聴く●

「残っとなんねえ、ほんとは残っとなんねえ。」刈谷の歴史を伝える景観についてたずねた我々に竹中さんはこのように言われました。江戸時代は現在の亀城公園に刈谷城があり、これをとりまくように武家屋敷が位置していましたが、道路の開通にともない昔のまちなみはすっかり変わってしまい、今では各所にある碑がわずかな手がかりのこと。竹中さんはだんだん消えていく資料をつなぎとめるように、丹念に記録をとりつづけて本にまとめています。「何かに書いておくと調子がわからなくていい。知らなきゃ平気でこわっちゃう。やっぱり現場がないとさみしい。」場所に宿る意味の深さについて考えさせられる言葉でした。



刈谷市協会会長  
竹中 賢太郎さん

## 亀城公園界隈

## 亀城公園

亀城公園は、刈谷城跡に整備された自然ある公園です。刈谷城は廃藩置縣後、土族総代大野介蔵氏の所有から一時、亀城殖産合名会社の所有にわたりましたが、昭和11年に刈谷町が買収して公園としました。当時は老松大樹が林立し、ところどころに「矢ぎま」「はぎま」が残り、古城跡の面影があったようです。戦時中に荒れ果ててしまいましたが、戦後すぐに手入れがされ、堀などの地形をそのまま生かした美しい公園となっています。



国書刊行会「ふるさとのおもひ写真集 明治大正昭和 刈谷」より 昭和12年頃



昭和42年頃



現在

## 亀城小学校

亀城小学校は明治6年創立の伝統ある小学校です。大中業氏の設計により昭和3年に完成した校舎は、現在もその一部が刈谷市郷土資料館として保存されており、趣のある景観が受け継がれています。



郷土出版社「写真集刈谷・知立いまむかし」より 昭和34年頃



現在

●かりやウォッチング●  
—郷土資料館のレンガ壁と生け垣—

郷土資料館は亀城小学校旧本館を保存活用した建物で、周囲のレンガ壁も当時のものが保存されています。隣接している亀城小学校には鉄筋コンクリートの校舎が建っていますが、建物外周には旧本館と同様にレンガ壁が配され、連続したまちなみを形成しています。道路を挟んで対面側にも生け垣を持つ家が多く、趣ある美しい景観を形成しています。



## 万燈祭り

武者人形の「万燈」が勇ましく舞う祭りで、230年の歴史があります。祭りをデザインモチーフにして整備された万燈通りは、伝統的かつ斬新な街路デザインとなっており、まちなみの景観として定着しつつあります。



大正時代



現在の万燈通りのストリートファニチャー



現在の万燈通りの歩道のモザイク



現在

●本市における都市景観形成へのとりくみ

本市では、「都市景観基本計画」、「地区景観基本計画」を策定し、計画的な都市景観形成へのとりくみを進めております。これらの計画では、本市のめざす都市景観形成の理念と方向性を明らかにしており、市民のみなさんと共に景観づくりを実現していくことを目指しております。

これまでも、「都市景観のあらまし」や「景観マップ」の作成を進めてきました。今回は、「かりや景観れぽーと」を作成し、情報の発信や交換、収集を行うことにより、市民のみなさんとの交流を深め、景観づくりの活動につなげていきたいと考えております。



情報コーナー

「なつかしの景観写真展」の開催

刈谷のまちの昭和38、39年頃の写真を集めました。なつかしい写真から、まちの景観の変化を発見して下さい。写真展開催時には、愛知教育大学の寺本助教教授による「親子で撮った刈谷の風景写真展」を同時開催します。みなさまで是非お立ち寄り下さい。

平成10年3月21日（土）～29日（日）  
中央図書館2F展示コーナーにて

「かりやウオッチング」の募集

まちの景観を構成しているものは、道路や公園などの公共施設だけではなく、みなさんの身近にある建物の外壁や生け垣、庭木なども美しい景観を創り出すものではないでしょうか？あなたの知っているすてきな街角を、「かりやウオッチング」のコーナーで取り上げていきたいと思っておりますので、是非ご紹介下さい。（窓口：都市計画課）



●編集後記●

刈谷市では、「景観」という観点で、住み良く快適なまちづくりを進めております。この「かりや景観れぽーと」は、市民のみなさんといっしょに刈谷の良い景観を発見して育てていくことを目標に、景観についての皆さんの声を集めてレポート（報告）するものです。ご意見等をお待ちしております。

・次号の特集は「橋」です・